

2020年9月20日(日)
 主催：(一般社団法人)障がい児成長支援協会
 共催：(株)ストーリー 『こぼんはうすくら』川口青木・川口戸塚教室
 明蓬館高等学校、トータス教育研究所

**早期からの適切な支援によって
二次障害は防ぐことができる！**

◆子どもたちの居場所と叱り方
 ◆進んで取り組ませるための指導のポイント

(一般社団法人)障がい児成長支援協会 協会長
 山内康彦 (学校心理士・ガイダンスカウンセラー)

1

まず、はじめに・・・ 講師紹介・・・

◎学校一番の問題児が先生(心理士)になった

図表：児童の生活状況調査表(表1)と、その解説(表2)。

表1：児童の生活状況調査表(表1)

項目	調査結果
1. 児童の生活状況	...
2. 児童の学習状況	...
3. 児童の生活態度	...

表2：児童の生活状況調査表(表2)

項目	調査結果
1. 児童の生活状況	...
2. 児童の学習状況	...
3. 児童の生活態度	...

2

まず、はじめに・・・ 講師紹介・・・

今で言えば、まさに「発達障害」の児童である。
 では、なぜ、ここまで私が成長してきたのか？

○温かさや厳しさを両面もった**家庭**
 ○どんな時にも温かく受け入れてくれた叔父さん
 ○個別に温かく指導してくれた**学校の先生方**
 ○新たな学習目標を持たせてくれた初恋のHさん
 ○遊びも悪さも悩みも常に共有した**仲間**がいた
 ○たくさんの**経験から得た特技**
 (サッカー・手品・ギター・スキー・船舶免許)
※好きなことや得意なことをたくさんつくる！！

3

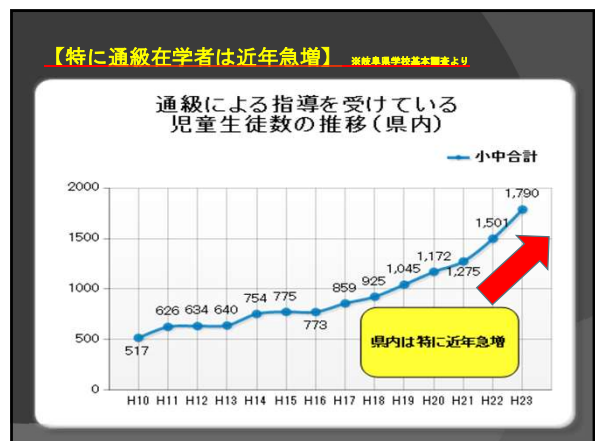
今日のお話の内容
 (子どもたちのためになるお土産を少しでも多くご紹介したい。)

- 1 はじめに(特別支援を取り巻く現状)
- 2 親として何を行うと子どもたちは伸びるのか
- 3 学校や各種機関等との連携の在り方
- 4 知らないで損する進路の情報
- 5 放課後等デイサービス等の有効性と選び方

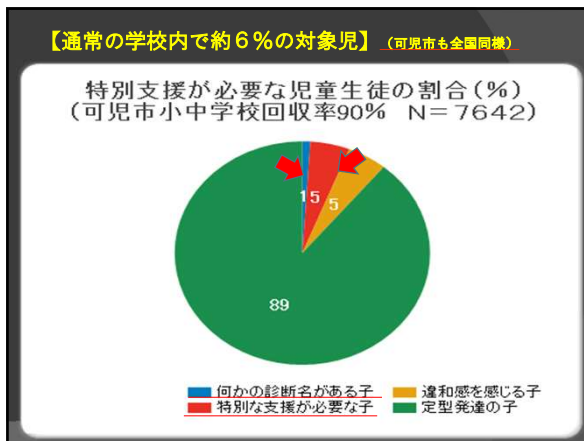
4



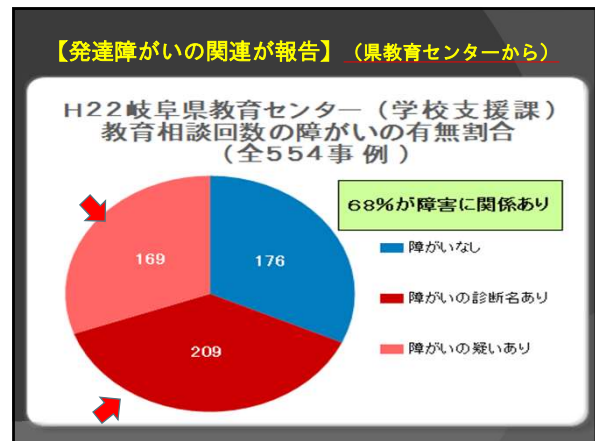
5



6



7



8

「困った子」は「困っている子」

「困った子だ！」と嘆いているのは、指導者の勝手な視点

☆実は一番困っているのは
その子ども本人

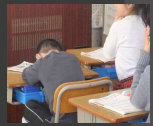
子どもの困り感に寄り添うこと

9

心理検査の活用

本来判定に使うためのものではない

☆K-ABC・K-ABC 2
☆田中ビネー
☆WISCⅢ・WISCⅣ



個の知的特性等を把握し、その高低やバラツキからその子に合った支援を考える材料にするもの

10

今日のお話の内容
（子どもたちのためになるお土産を少しでも多くご紹介したい。）

- 1 はじめに（特別支援を取り巻く現状）
- 2 親として何を行うと子どもたちは伸びるのか
- 3 学校や各種機関等との連携の在り方
- 4 知らないと損する進路の情報
- 5 放課後等デイサービス等の有効性と選び方

11

まずは、何を身につけることが重要なのか
S-M社会生活能力検査（129の項目）

- 1 身辺自立
- 2 移動
- 3 作業
- 4 意志交換
- 5 集団参加
- 6 自己統制

12

就職するために必要なことは……

大山会長（日本理化学工業）の採用条件

- ・ 身辺自立
- ・ 自分で会社に通う
- ・ 「やろう」と言われたら
すすんでやる
- ・ 仲間にいじわるをしない
- ・ 気持ちのよいあいさつ



13

答えは簡単！！

子どもたちへのかかわり方の大原則

しかるより ほめること

その理由は……

14

叱られる子は負のスパイラルに陥っている

できない→叱られる→自信がなくなる
→やらない→叱られる→ふてくされる
→怒鳴られる→逃げる（反抗する）
→もっともっと怒鳴られる

◆自己肯定感をなくしていく
「俺はどうせバカだから……」
「どうせ 私には できないし……」
「はじめてから やらない方がいいや」

15

まずは ただほめるだけでも効果あり

その名は、「ピグマリオン効果」

一輪車の指導実験（小学校二年生）

- 1 組担任
「君たちには才能がある。必ずできるよ。」
2 組担任
「あぶないよ。簡単にはできないよ。」

その差は歴然。1 か月後、一輪車に乗ること
のできる子は、3 倍以上違った。

16

ほめること…… 当たり前で一番大切

そのポイントは以下の3点
☆この順番も大切

- 1 位置づけ
- 2 価値づけ
- 3 方向づけ

17

今回の講演会では……付け加えて

子どもを伸ばす親のかかわり方は
発展していく。

- 1 手をかける
 - 2 目をかける
 - 3 気を配る
- ※2 と 3 を特に大切にする。

18

それでは……

問題になっていることに対して
どのように取り組めばよいか。

- 1 課題（問題点）を全て書き出す
- 2 取り組みやすい順にならべる
- 3 数個と期間を決めて取り組む

※本人が主体的に選択する
※関係諸機関と一緒に取り組む

19

ほめることでよいスパイラルに変えていく

できる→ほめられる→自信がつく→やる
→またほめられる→もっともっとやる
→どんどんできる→更にほめられる
→より高い目標に向かって取り組む

◆自己肯定感を高めていく
「ぼくは、計算は得意なんだ。」
「調理が好きでコックさんになりたい」
「勉強は苦手だけどやさしい子です」

20

叱ることも大切

ダメなことはダメ
社会で通用しないことは
子どものうちからしつけをする

- ◆スポーツの世界でもレッドカード
- ◆警察で言えば……

・発達障がいに対して基本的に
減刑はありません……

21

叱る観点を事前に明確にしておく
叱ることは、裏を返すと「ほめること」

- ①殴るなどの暴力は絶対許しません
→お手伝いなど相手にやさしい行動
- ②「殺す」「うざい」などの暴言もNG
→あいさつやお礼など温かい言葉
- ③3回同じことを注意されたら厳しく
→言われる前に自分で考えて行動する

22

大人は子どもの手本と言います
親は学者・武者・易者・役者・芸者・医者であれ！

- ①憧れをもたせる大人になる
・ありがとうを言える子どもたちの理由
・「母の日に花」「うるさい死ねババア」の差

- ②なぜ我が子は好きなことしかない？
・平日学校を休んで年間何日も野球観戦
・「我が子が偏食？」→「私も食べませんから」

☆時には、親の失敗談が効果的
親の人柄を子どもが信頼したときに本当の親となる

23

今日のお話の内容
（子どもたちのために
なるお土産を少しでも
多くご紹介したい。）



- 1 はじめに（特別支援を取り巻く現状）
- 2 親として何を行うと子どもたちは伸びるのか
- 3 学校や各種機関等との連携の在り方
- 4 知らないと損する進路の情報
- 5 放課後等デイサービス等の有効性と選び方

24

知らなかったでは済まされない

学校をはじめ各種機関ではもっとよい
様々なサービスを受けることができる
しかし、向こうから教えてくれない！！
→よいサービスは保護者が請求する
なぜ、向こうから教えてくれないか
(※税金の控除も申告制ですね)
全員にそのサービスができないから
※公務員の最大の欠点の一つ！！

◎医者の意見書を使うとよい

25

知らなかったでは済まされない

☆文句を言う前に情報を知って 「かしこい親」になりましょう

※「個別の支援計画の作成」
保護者と相談のもと学校が中心に
なって作成。様々な機関も巻き込んで、
有効な支援を書類の中に残していく。
担当が変わっても残る。

26

今日のお話の内容

(子どもたちのためになるお土産を少しでも
多くご紹介したい。)

- 1 はじめに(特別支援を取り巻く現状)
- 2 親として何を行うと子どもたちは伸びるのか
- 3 学校や各種機関等との連携の在り方
- 4 知らないと損する進路の情報
- 5 放課後等デイサービス等の有効性と選び方

27

進路選択で一番大切なこと

目先の困り感や目標で進路を決めない
※学校や行政の都合もあることに注意！！
※特別な支援が必要な子どもの実態を最優先

○長期的(少なくとも3年後)を見越して決める

「通常のクラス」
「通級指導教室」・・・○中学校での進路
「特別支援学級」・・・○知的 ○自閉情緒
「特別支援学校」・・・○大学受験資格
その他にも・・・・・・・・

28

進路選択で一番大切なこと

学力よりも大切なことがある

1. まずは、欠席なく元気に学校に登校すること
2. 遅刻や早退も日数が多いと欠席してカウント
3. 成績は「テスト」「提出物」「授業態度」

○通常学級に無理して入れて欠席が多いぐらいなら
他の環境を考えるべき。

今は「支援学級」から「通級」へ変わることも多い
更に「支援学級」から通常学級にも変わる

※しかし、そのための準備は3年～5年は必要！！

29

進路選択で一番大切なこと

特別支援受け入れてくれる公立・私立

※学校全体が特別支援を受け入れてくれる環境

△教員に特別支援の専門性があるかは確認！！

○公立高校 私立高校

◎通信制サポート高校等

今話題の専門学校！！(専修学校)

※入学は学力重視でない 意欲と社会性重視

※様々な資格以外に高等学校卒業資格も取得

※大学進学も可能

※制服有・修学旅行等も有 しかし、注意点！

30

今日のお話の内容

(子どもたちのためになるお土産を少しでも多くご紹介したい。)

- 1 はじめに (特別支援を取り巻く現状)
- 2 親として何を行うと子どもたちは伸びるのか
- 3 学校や各種機関等との連携の在り方
- 4 知らないと損する進路の情報
- 5 放課後等デイサービス等の有効性と選び方

31

昔は、預かってもらえるだけで大満足

現在は

身近で、よりよいサービスを受ける時代

※単なる預かりから学校等と連携をとった療育へ
→有効な支援を共有し、子どもの支援に生かす
(個別の支援計画策定も)

※子どもが力を身につける施設 (学力・社会性)
社会性を身につけ、就労まで見えた長い支援

32

保護者や指導者からのよくある
お悩みについて具体例を通して
お答えします

33

①「片付けが苦手な子」に対する支援方法

なぜ片付けることができないか？

×複数の指示が混在している

1 集める 2 分ける 3 整頓

この3つを分けて順に指導する

具体的には

まず「集める」ことから始める

34

②「時間が守れない子」に対する支援方法

なぜ時間を守ることができないか？

×気持ちの切り替えが苦手

口の指示ではなく音楽を活用
園や学校も同じことをしている

具体的には

気持ちを切り替える音楽を流す

35

③「友だちがいない子」に対する支援方法

なぜ友だちがいないのか？

×受け入れる子がない

受け入れてくれる大人を創る
本人より幼い周りが悪い！

具体的には

まず、大人の友だちを増やす

36

④「ゲームを止めない子」に対する支援方法

なぜゲームを止められないか？

×事前の約束を決めていない

自分が決めたことは守らせる

甘やかせてはいけない

具体的には・・・

「ゲーム貯金」という指導法

37

⑤「行事に参加しない子」に対する支援方法

なぜ行事に参加できないか？

×周りの目 ×失敗する！

大人になってやらないことは

無理させる必要はない！！

大人になってやらないといけな

いことを最優先して行わせる

38

困り感を共感的に受け止め、早期から適切な支援を継続的に行うことが大切です



特別な支援は、もはや特別なものではありません
全ての子どもたちにとってやさしい支援なのです

ご清聴ありがとうございました。

39